

世界に誇れる 日本の自然を守る 国立公園

環境省上席自然保護官と
国立公園で働く江戸川大学卒業生二人が
国立公園の意義を語った



加藤和紀さん



石井綾さん



千葉康人さん



国立公園内の自然を紹介しながらシンポジウムは進められた

2017年11月3日、駒木祭で「国立公園と世界自然遺産の現在」と題するミニシンポジウムが開かれた。ゲストに環境省から千葉康人さん、江戸川大学卒業生で国立公園で働く石井綾さんと加藤和紀さんが登壇した。国立公園の認知度をあげ、その意義を広く国民に知ってもらいたいと強調していた。(撮影・添田一真取材・文・石井悠大)

千葉さんは環境省奄美自然保護官事務所上席自然保護官で、勤務の場は大和村の環境省奄美野生生物保護センター。「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」の世界自然遺産登録に向けた準備や奄美群島国立公園の管理などを担っている。世界遺産には、文化遺産と自然遺産があり、自然遺産に登録されるためには4つの評価基準「地形・地質」「生態系」「自然景観」「生物多様性」のいずれかを満たす必要がある。日本では「知床」「白神山地」「小笠原諸島」「屋久島」がそれぞれ自然遺産として登録された。奄美には固有な生態系が存在し、他の地域では絶滅してしまった生物がここで固有の進化を遂げているので、「生物多様性」の項目を満たしているという。

希少種の保護には外来種の駆

除が必要だ。奄美群島では30頭のマングースが当初ハブの駆除の目的のために放たれた。それが、いつの間にか一万頭近くまで増え、奄美の自然を荒らしていった。環境省はマングースバスターズを結成。その結果、今では百頭をきって50頭まで減少了。

このような取り組みの成果で希少種の生息状況は年々改善してきているという。しかしまだ判断を許さない状況であり、ここからが正念場だ。政府は2月1日に世界自然遺産登録の推薦書をユネスコに提出し、夏に国際自然保護連合(IUCN)が来島し、現地を調査した。2018年夏に世界遺産委員会の審議で登録の可否が決まる。千葉さんは、「これまで島に住んでいた人々が自然を守ってきたことで、世界自然遺産登録が目指せる。これからも皆さんの協力を得て、しっかりと責任を果たしたい」と話した。

＊

次に登壇したのが本学卒業生で自然公園財団日光支部職員の石井綾さんだ。石井さんは本学のライフデザイン学科(現・現代社会学科)に在籍し、親泊素子教授ゼミでイギリスの景観保護について研究を行っていた。2年次のインターンシップでは国立公園の仕事を体験した。

国立公園とは、国を代表する

自然を保護し、適正な利用を図っていくために、国が一定の地域を指定し、管理している自然公園である。国民が自然とふれあえる場として利用施設を整備し、自動車の乗入れ規制やマナー指導などを行っている。

石井さんの勤務地、日光国立公園は栃木県のほか福島県、群馬県にまたがり、鬼怒沼、日光白根山、奥日光の湿原、日光湯元温泉、中禅寺湖と華厳滝、塩原溪谷、那須岳など、世界に誇れる多種多様な観光資源がある。「最近では、国立公園に外国人観光客の受け入れを期待する声も大きいが英語ができる人手が不足している。でも、海外からの観光客にも日光の自然を楽しんでもらいたい」と語った。

＊

最後に登壇した自然公園財団箱根支部の加藤和紀さんも本学卒業生だ。加藤さんは石井さんと同じく、親泊ゼミに所属していた。加藤さんの勤務地、富士箱根伊豆国立公園に限らず国立公園は、地域制国立公園と呼ばれる土地の所有にかかわらず区域を定めて指定される公園であり、区域内では、自然環境を改変する各種の行為が許可もしくは届出を要する行為として規制されている。

しかし、箱根は有名観光地なので、どうしても国立公園であるという認識が薄れてしまっ

数年前に本学の学生を箱根に連れていき、湯本で国立公園という単語が入っている看板を捜してもらったがほとんどなかったという。箱根全体の観光客数は年間2千万人いるのに対し、ビジターセンターに訪れる来訪者数は6万人程度だ。

解決策として、アメリカやカナダと同じく、公園の土地を当局が所有したり権限をもっている、営造物公園にするといったことが重要だと加藤さんは言う。例えば新宿御苑がそうで、自然の管理も行き届き、観光客も多い。「箱根の一部を営造物公園にできれば少しは状況も変わるのだが、課題も山積している」と語った。

＊

国立公園全体の課題は、知名度の低さだ。奄美、日光、箱根に共通して言えることだが、観光地としては有名なが、国立公園のイメージは薄い。さらに、世界自然遺産登録には国立公園の存在が前提であるにもかかわらず、メディアは世界自然遺産のことしか報じないので、ますます国立公園の存在は薄れていってしまう。

シンポジウム終了後のインタビューで、千葉さんは「江戸川大学の学生、ひいては全国の学生達にも国立公園の存在を知ってもらいたい」と語った。